

会 議 録

会議名	令和元年度 第3回 大野北地区まちづくり会議		
事務局 (担当課)	中央区役所 大野北まちづくりセンター 電話 042-861-4512		
開催日時	令和元年8月19日(月) 19時00分～20時00分		
開催場所	大野北公民館 大会議室		
出席者	委員	19人 (別紙のとおり)	
	担当課	3人 交通政策課2名、公民館館長代理	
	事務局	3人 まちづくりセンター所長、同主査、地域活力推進員	
公開の可否	可	不可	一部不可
	傍聴者数	2人	
公開不可・一部公開不可の場合は、その理由			
会議次第	<p>1 あいさつ</p> <p>2 お知らせ 淵野辺駅自由通路南口エレベーターの改修工事について</p> <p>3 報告事項 「令和元年度 大野北地区まちづくりを考える懇談会」の開催について</p> <p>4 議 題 地区課題の検討について</p> <p>5 出席委員からの情報提供</p> <p>6 その他 次回日程について</p> <p>7 閉 会</p>		

審 議 経 過

1 開 会

山口会長あいさつ

(以後進行は山口会長)

2 お知らせ

- ・ 淵野辺駅自由通路南口エレベーターの改修工事について

淵野辺駅自由通路南口エレベーターの改修工事(リニューアル)が、11月中旬から12月下旬(予定工期は約50日)まで実施する旨のお知らせが市交通政策課からあった。工事期間中の代替措置については、現在、検討中であり、詳細が決まり次第、地域情報誌などで改めてお知らせする。

3 報告事項

- ・ 「令和元年度 大野北地区まちづくりを考える懇談会」の開催について

今年度のまちづくりを考える懇談会は、10月25日(金)午後7時から大野北公民館大会議室にて開催されること、また、新市長就任に伴い、市長とまちづくり会議委員との「対話」により、地区のまちづくりについて考える懇談会とすることなどについて、地区まちづくり懇談会実施要領(資料1)を用いて事務局から報告した。

4 議 題

- ・ 地区課題の検討について

前回のまちづくり会議にて委員へ提出を依頼した、地区課題抽出シートの集計結果を事務局から報告した後、全体会(本会議)に先立って行われた役員会で出された主な意見を役員から報告した。

【地区課題抽出シートの集計結果】

「1 都市計画・都市整備」及び「2 道路・交通」が各4件と最も件数が多く、次いで「9 生涯学習・文化・スポーツ」が2件、「3 住環境・生活環境」、「5 産業・観光・商店街」、「6 安全・安心」、「7 健康・医療・福祉」及び「10 地域コミュニティ」が各1件であった。

【役員会での主な意見】

当地区の最も重要な懸案事項は、公民館、図書館、まちづくりセンターなどの公共施設の老朽化である。

淵野辺駅南口周辺の公共施設の再整備については、新たな検討組織(市民検討会)を立ち上げ、そこで議論しているので、まちづくり会議としてはあまりかわらなくても良いのではという考えもあったが、この件については、広く意見を募ることは構わないとのことなので、市民検討会だけに任せるのではなく、まちづくり会議としてもかわりをもっていくべきである。

【資料2】別紙の単位自治会の課題は、確かに懸案事項であるが、まちづくり懇談会のテーマとはなりにくい。まず、地区自治会連合会の自治会長会議などで議論すべきものである。

どの項目を優先すべきか(懇談会のテーマとするか)については、役員会で決定するのではなく、役員会での意見を各委員に共有してもらい、各委員からの意見も踏まえ

て全体会（本会議）で決定する。

上記のとおり、役員会での意見を踏まえたうえで地区課題の検討を行った。

結果、「1 都市計画・都市整備」に関連する公民館のあり方、老朽化、備品類の整備状況などを中心にまちづくり懇談会のテーマシートを作成することとなった。

なお、テーマシートについては、次回のまちづくり会議にて提示する。

【主な意見】

「2 道路・交通」に記載の、淵野辺駅のホーム幅が狭いことや快速列車の停車駅となっていないことについては、課題であると認識しているが、これらの件については、市公共交通整備促進協議会においても、JRに対して要望しているところである。

淵野辺駅南口周辺の公共施設の再整備については、まちづくり会議の委員も市民検討会に参画し、検討が進められているところであるが、同検討会だけに委ねるのではなく、まちづくり会議としてもかわりをもっていくべきである。

淵野辺駅南口周辺の公共施設の再整備については、市民検討会とは違った視点で懇談会のテーマとすることも一案と考える。

当地区は、人口のわりに地区内に公民館が一つしかなく、著しく不公平な状態である。新市長となり、今までの流れと違った議論ができるのであれば、不公平感の解消という視点で懇談できるのではないか。

5 出席委員からの情報提供

(1) にこにこ星ふちのべ商店会 萩生田委員

淵野辺駅北口ペDESTリアンデッキ下において、駅下ピアガーデンを8月28日（水）に、駅下角打ち（かくうち）を9月25日（水）に開催する。
時間は、何れも午後3時から午後9時まで。

(2) 大野北第1高齢者支援センター 古明地委員

大野北第2高齢者支援センター 木幡委員

令和元年度版高齢者地域情報誌及び季刊誌（大野北第2）令和元年度第2号が発行された旨の紹介があった。

- ・大野北第1ここから始まる“ちえ”講座 令和元年度第3回
今から備える終活とは ~エンディングノートと人生会議~
日 時 9月12日（木）午後2時から午後3時30分まで
会 場 第5SKビル2階

(3) 麻布大学 白石委員

- ・麻布大学いのちの博物館 セミナー6
3Dプリントレプリカに触れる フォトグラメトリーの世界
日 時 9月14日（土）午前10時30分から正午まで
会 場 麻布大学いのちの博物館 2階セミナー室

6 その他

次回日程について、令和元年9月17日（火）午後7時から開催予定である旨を報告した。

7 閉 会
小川副会長が閉会

以 上

令和元年度 大野北地区まちづくり会議委員出席者名簿

	氏名	所属団体等の名称	出欠席
1	山口 信郎	大野北地区自治会連合会	出
		大野北地区社会福祉協議会	
2	飯田 秀雄	大野北地区自治会連合会	出
3	林 知治	大野北地区自治会連合会	出
4	脇山 寿満子	大野北地区民生委員児童委員協議会	出
5	小野澤 行雄	大野北地区社会福祉協議会	出
6	小川 紳夫	大野北公民館	出
7	田加井 政男	交通安全協会	出
8	荻原 ますみ	大野北地区交通安全母の会	出
9	原田 武久	大野北地区老人クラブ連合会	出
10	宮崎 誠生	相模原市消防団中央方面隊第三分団	欠
11	内田 清	さがみはら国際交流ラウンジ運営機構	欠
12	小方 明	大野北青少年健全育成協議会	出
13	清水 博登	青少年指導員大野北地区協議会	欠
14	村田 明夫	スポーツ推進委員大野北地区協議会	出
15	中山 章治	小学校	出
16	田尻 和宏	中学校	欠
17	渡部 弥生	小・中学校PTA	出
18	平井 昇	青山学院大学	欠
19	河本 真治	桜美林学園	出
20	白石 一郎	麻布大学	出
21	神谷 恵子	福祉グループ「輪」	出
22	古明地 香奈子	大野北第1高齢者支援センター	出
23	木幡 一博	大野北第2高齢者支援センター	出
24	萩生田 康治	にこにこ星ふちのべ商店会	出
25	渡辺 章	淵野辺駅南口商栄会	欠
26	篠崎 雅夫	相模原市農業協同組合淵野辺支店	欠

令和元年度 第3回大野北地区まちづくり会議

日 時 令和元年8月19日(月)
午後7時から
場 所 大野北公民館 1階 大会議室

次 第

- 1 あいさつ
- 2 お知らせ
淵野辺駅自由通路南口エレベーターの改修工事について(交通政策課)
- 3 報告事項
「令和元年度 大野北地区まちづくりを考える懇談会」の開催について【資料1】
日 時 令和元年10月25日(金) 午後7時から
場 所 大野北公民館 大会議室
- 4 議 題
地区課題の検討について【資料2】
- 5 出席委員からの情報提供
- 6 その他
次回日程について
日 時 令和元年9月17日(火) 午後7時から
場 所 大野北公民館 大会議

以 上

令和元年度 大野北地区まちづくり会議委員及び役員

令和元年8月19日現在

1 委員(大野北地区まちづくり会議会則 第4条別表第1)

	氏名	所属団体等の名称	役職名
1	山口 信郎	大野北地区自治会連合会	会長
		大野北地区社会福祉協議会	会長
2	飯田 秀雄	大野北地区自治会連合会	副会長
3	林 知治	大野北地区自治会連合会	副会長
4	脇山 寿満子	大野北地区民生委員児童委員協議会	会長
5	小野澤 行雄	大野北地区社会福祉協議会	会計
6	小川 紳夫	大野北公民館	館長
7	田加井 政男	交通安全協会	理事
8	荻原 ますみ	大野北地区交通安全母の会	会長
9	原田 武久	大野北地区老人クラブ連合会	会長
10	宮崎 誠生	相模原市消防団中央方面隊第三分団	分団長
11	内田 清	さがみはら国際交流ラウンジ	部長
12	小方 明	大野北青少年健全育成協議会	会長
13	清水 博登	青少年指導員大野北地区協議会	委員
14	村田 明夫	スポーツ推進委員大野北地区協議会	委員
15	中山 章治	小学校	淵野辺小学校校長
16	田尻 和宏	中学校	共和中学校副校長
17	渡部 弥生	小・中学校PTA	大野北中学校PTA副会長
18	平井 昇	青山学院大学	相模原事務部庶務課長
19	河本 真治	桜美林学園	地域社会連携室兼校友課課長
20	白石 一郎	麻布大学	総務部 地域連携課長
21	神谷 恵子	ボランティアグループ	福祉グループ「輪」代表
22	古明地 香奈子	大野北第1高齢者支援センター	センター長
23	木幡 一博	大野北第2高齢者支援センター	センター長
24	萩生田 康治	にこにこ星ふちのべ商店会	会長
25	渡辺 章	淵野辺駅南口商栄会	役員
26	篠崎 雅夫	相模原市農業協同組合淵野辺支店	支店長

2 役員(同会則 第6条別表第2)

役職	所属団体等の名称	氏名
会長	大野北地区自治会連合会会長 大野北地区社会福祉協議会会長	山口 信郎
副会長	大野北地区民生委員児童委員協議会会長	脇山 寿満子
副会長	大野北公民館館長	小川 紳夫
幹事	大野北地区自治会連合会副会長	飯田 秀雄
幹事	大野北地区自治会連合会副会長	林 知治

淵野辺駅南口 エレベーター改修工事のお知らせ

相模原市役所

日頃から、市政に対し、ご理解とご協力いただきありがとうございます。
市民の皆様が、より安全で快適にご利用いただけるよう、次のとおりエレベーターの改修工事を実施いたします。

近隣にお住まいの方々、ご利用者の方々にはご迷惑おかけしますが、ご協力いただきます様、よろしく願いいたします。

○工事名

淵野辺駅自由通路南口昇降機改修整備

○工事概要

エレベーター（南口側）をリニューアルします。

○予定工期

令和元年11月中旬～令和元年12月下旬（停止期間は約50日になります。）

○交通規制

工事期間中はエレベーターを**完全停止**します。

なお、工事期間中のみ淵野辺駅跨線橋に設置されているポール設置幅(2箇所)を広げ、車いすなどが通行できる空間を確保します。

○代替措置

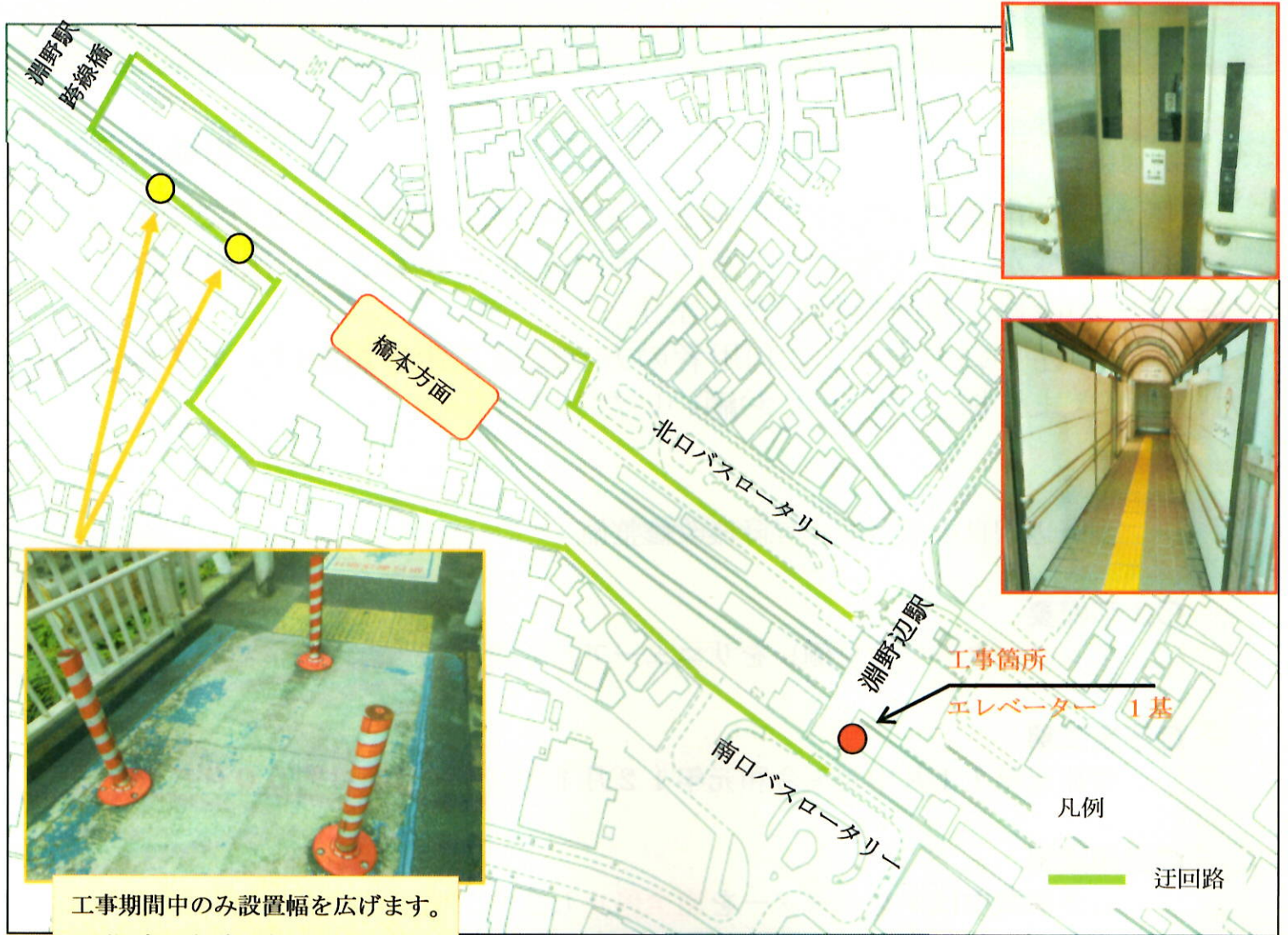
エレベーターを利用されていた方は、お近くの階段又はエスカレーターをご利用ください。

なお、車いすを利用されている方や階段・エスカレーターを利用することが困難な方を対象に、淵野辺駅南口・北口の相互の移送手段を現在検討しております。

○その他

工事の日程及び移動手段の詳細が決まりましたら、内容を更新したお知らせを改めて配布いたします。（10月上旬頃予定）

<施工位置図>



以上



<問い合わせ先>

担当課：相模原市 交通政策課
 担当：高橋 理、小池 隆太
 TEL：042-769-8249

工事施工者：三菱電機ビルテクノサービス（株）横浜支社
 現場代理人：山口 登
 TEL：042-723-1194

令和元年度 地区まちづくり懇談会実施要領

1 目的

まちづくり会議の委員と市が意見交換や情報共有しながら、地域の特性や地域資源を生かしたまちづくりを協働して考える場を設け、住みよいまちづくりを推進する。

2 本年度の開催方針等

新市長就任に伴い、市長とまちづくり会議委員との「対話」により、地区のまちづくりについて考える懇談会とする。また、まちづくりを考える懇談会「地域の未来を語ろう with 市長」と名称を変更して実施する。

3 開催単位

各地区年1回1会場とする。

4 実施方法

各地区まちづくり会議と市の協働により開催する。

5 開催日等

開催日及び会場は、まちづくり会議と市との調整により決定する。

開催時間は午後7時からとする。

6 進行等

懇談会の進行等はまちづくり会議の代表者等が行い、開催時間は概ね1時間30分とする。

7 出席者

(1)地区の出席者は、まちづくり会議の委員とする。なお、まちづくり会議が特に必要とする場合には、委員以外の出席を認めることができるものとする。

(2)市側の出席者は、市長、担当副市長、区長、及びテーマに関連する局長とする。ただし、区長は副区長が、局長は部長が代わることができる。また、まちづくり会議事務局の職員、テーマに関連する部署の課長及び職員も出席できるものとする。

市長の公務日程等で対応できない場合がある。

8 懇談の内容

地区のまちづくりに関して、地区でテーマを設定する(原則一つ)。

【テーマの考え方】

ア 現在、地区で重点的に取り組んでいるもの。

イ 今後、地区で取り組んでいく必要があるもの。

9 傍聴

当日受付とし、地区以外の住民も傍聴可能する。ただし、会場の都合により、座席数には限りがあるため、希望者が多い場合には抽選により、傍聴者を決定する場合がある。

10 周知方法

市ホームページ及び地域情報紙にて周知を行う。

地区課題抽出シート集計結果

抽出項目	報告書に記載の現状と課題	報告書に記載がない課題等	件数
1 都市計画・都市整備	JR横浜線淵野辺駅周辺には、大野北まちづくりセンターや公民館、市立図書館など、建設から40年以上が経過している公共施設が複数あり、各施設の老朽化が進行しています。また、大野北地区においても、他の地区と同様、人口減少とともに急速な高齢化が見込まれることから、淵野辺駅南口を中心として、公共施設の複合化による都市的な機能を整備して、幅広い世代が活躍することができる場を創出することが求められています。	淵野辺駅南口周辺の公共施設の複合化、再整備に関する事業化の見込みと計画年度を提示してもらいたい。 報告書の対応策に記載されている「体育館などの運動設備を整備する」については、9の「生涯学習・文化・スポーツ」にて議論すべきもの 大野北公民館は、他地域の方々の利用が多いので、地区内の方々の優先利用日等を設けてほしい。	4
2 道路・交通	大野北地区では、交通不便地区における高齢者等移動制約者の生活交通を確保するために、コミュニティバスの実証運行に取り組んでいます。今後、住民がより暮らしやすいまちを形成していくために、コミュニティバス路線の維持・新設、道路交通環境の向上が求められます。 また、公共交通においても、JR横浜線淵野辺駅は駅別乗降員数が市内各駅の中で3番目でありながら、快速列車の停車駅となっておりません。さらに、当駅利用者の安全性に配慮した、駅ホームの整備も課題となっています。	淵野辺駅はホーム幅が狭く、電車との接触の危険性やホームからの落下が懸念される。特に朝夕の通勤通学時の混雑が激しく学生も多く利用しているので喫緊の対応が必要である。 昨今の運転免許返納に伴い、従来、淵野辺駅北口の商店に来店いただいていた町田市からの来店客が減少している。このことに対応するための交通対策が必要である。 小学校通学路の環境改善（淵野辺東小学校の通学路については、道幅が狭いこと、また、共和小学校については、国道16号共和4丁目交差点の陸橋が狭く、登り口周辺に児童が多数集中し車道にはみ出す危険がある。） 淵野辺十字路交差点の歩道橋に穴があいており危険 通学路における危険箇所（大野北中学校前の歩行者用信号を渡るとき、淵野辺一丁目信号を渡るとき）	4
3 住環境・生活環境	大野北地区は、多くの大学が立地され、大学生などの多くの若者が集まる活気あるまちです。今後もこれらの若者が社会人になってからも、この地域に住みたくなるよう、暮らしやすいまちづくりが求められています。 また、JR横浜線淵野辺駅前の飲食店周辺については、ごみの夜間収集が行われるようになり、衛生面において改善されました。 しかし、ごみの分別や出す時間を守らない人がいるなど、住民のゴミ出しマナーが課題となっています。さらに、地区内に在住する外国人の増加に伴い、ゴミ出しルールの周知方法についても、多言語化などの対応が求められています。	ゴミを指定された場所に出すのではなく、不法投棄がまだ改善されていない。被害を受けた者が回収し、有料で処分する場合がある。	1
4 自然・環境	大野北地区内には、鹿沼公園をはじめ、多数の公園や広場が整備されています。しかし、多くの公園や広場では、ボール遊びやスケートボードなどの利用について制限されており、子どもたちが自由に遊べる場所の確保が求められています。 また、大野北地区においては、生産緑地が多数存在しており、緑地保全・活用に係る対策の実施が求められています。		0
5 産業・観光・商店街	JR横浜線淵野辺駅付近にスーパーや飲食店などが増えたことにより、買い物などの利便性が高くなった一方で、商店街では活気がなくなり、商業施設における若者離れなどが課題となっております。そのため、駅付近の商店街の活性化、近隣の大学の学生などの若者向けの商業施設の誘導などの取組により、地域の方も暮らしやすく、多くの人が集まる、元気なまちづくりが求められています。		1
6 安全・安心	大野北地区では、青色防犯パトロールカーの導入による防犯パトロールの実施、「セーフティーエリア」指定による地域と金融機関、大学、警察と連携した防犯啓発活動の実施など、住民が主体となった地域の安全・安心のまちづくりの実現に向けた取組が行われています。 しかし、自転車マナー違反者の増加、オレオレ詐欺をはじめとした特殊詐欺件数の増加などの課題が挙げられ、対策が求められています。	避難所運営協議会が大規模地震発生時に実働の中心となれるようなバックアップ体制づくり 9月の市の防災訓練にあわせて、合同で避難所としての訓練を行う。	1

抽出項目	報告書に記載の現状と課題	報告書に記載がない課題等	件数
7 健康・医療・福祉	<p>地区内に、病院や歯医者などの医療施設が充実してきています。さらに、高齢者支援センターの増設、相模野病院が神奈川県周産期救急医療システムにおいて中核病院として位置づけられるなど、医療・福祉環境の整備が進んでいます。</p> <p>しかし、近年、高齢化の進展に伴う認知症の人の増加、歩道の段差や老朽化（亀裂等）、点字ブロックの老朽化などの課題が挙げられます。そのため、医療体制の強化、歩道の整備、高齢者への支援活動などが求められています。</p> <p>また、地区内では、日頃の健康管理の取組として、ラジオ体操やいきいき百歳体操などが行われています。今後は、子どもから高齢者までを対象に、幅広い世代の参加を促進しながら、このような活動に引き続き取り組んでいくなど、健康づくりに関する活動を地域全体に広めていくことで、皆が元気でいきいきとした生活を送ることができる地域づくりが求められています。</p>		1
8 教育・子育て	<p>大野北地区においては、青山学院大学や麻布大学、桜美林大学といった大学や市立図書館などの文教施設が立地しており、文教都市としての環境が充実しています。</p> <p>しかし、地区の人口増加に伴い、待機児童対策や子どもの居場所づくりの推進などの子育て環境の整備が課題として挙げられており、対策が求められています。</p>		0
9 生涯学習・文化・スポーツ	<p>大野北地区は、地区内人口が6万人を超えているにもかかわらず、地区内の公民館が大野北公民館のみであり、諸室の稼働率も市内で最も高いことから、生涯学習や地域交流の場の提供が限られてしまっていることが課題になっています。そのため、施設の整備や既存の施設の有効活用などによる生涯学習の環境の充実が求められています。</p> <p>また、地区の文化・歴史の若い世代への継承も課題となっており、イベントの開催や世代を超えた交流による周知活動が求められています。</p>		2
10 地域コミュニティ	<p>大野北地区内においては、「ふちのべ大学（青山学院大学、麻布大学、桜美林大学などの学生たちと地域の人で連携する大学）」が設立され、大野北銀河まつりなどの地域行事の運営に学生が参加するなど、地域内での世代を超えた交流が活発になっています。また、国際交流ラウンジが地域住民と外国人の国際交流の拠点や支援となり、子ども食堂が設立され子どもの居場所づくりにつながっているなど、地区全体において、住民個々の「共生」の意識が高まっています。</p> <p>しかし、他地区同様、自治会加入率の低下、地域交流の希薄化などが課題として挙げられています。こうした課題を改善していくためにも、地域の担い手の育成、地域交流の活性化に向けた取組が求められています。</p>	別紙のとおり	1

回答率 57.7%

地区課題抽出シート集計結果（単位自治会）

	現状と課題	対応方策
1	自治会加入者の減少加速（住民の老齢化が急速に進み、自治会加入者の減少化が加速。また、自治会を嫌う者も増加）	
2	淵野辺駅北口周辺の道路について、歩道がない箇所、歩道があっても舗装されていない箇所がある。（具体的な場所については、文面からは特定できず）	行政との対応・協議の強化
3	様々な世代の会員達がコミュニケーションがとれる場所が少ない。 自治会退会者が多い。	複数の自治会が使用できるような公民館的な施設が徒歩圏内に欲しい。
4	境川新中里橋付近にある資材置場をふれあい広場として整備 家庭ゴミの個別収集（住民の高齢化が進み、集積所の管理が困難）	資材置場として使用開始した当時の資料を確認 高齢者対策部署とも連携した施策として進める、他市の事例を検討
5	大野北地区が広すぎて、例えば、境川近く、北口商業地、南口住宅地とでは、暮らしていく上で「満足していること（残したい価値）」「不便だと感じていること」が、それぞれ違うと思われる。そんな状態で、「大野北地区」として、どのようにまちづくりの課題を確認し、対処していけるのか？ とりわけ現在は、「淵野辺駅南口再開発」と銘打って、本来、南北あわせて「淵野辺」であったものを切り離して考えさせられているが、このまちの将来を構想するにあたって、南口の住居者と、公共施設の利用者、北口の商業者間の「意識の差」を埋める努力（対話）が、全く出来ていないこと。	市民検討会とは別に、率直な意見交換会を一度はしてみる。
6	会員の高齢化に伴い役員ができないとの理由で退会者が増加 イベントでの役員の業務が負担となっている。 自治会員となるメリットがないとう理由で退会する事例がある。 会員の減少に伴い、班・組の再編を行ったが、地理的な塊で分けたため、組内の高齢世帯の割合まで考慮されなかった。	検討中
7	地区内交通状況の改善の必要性（補給廠北側外周道路開通に伴い地区内道路の大渋滞が予想される。上矢部交差点付近の歩道確保） 自治会への関心が低下（加入率の低下、役員の担い手がいない等） 高齢者、要支援者対策の遅れ（支援体制が一本化されていない。個人情報保護が足かせとなり支援体制がとれていない。） 消防団と消防署の関係が不明瞭（消防団の財政的支援の一部が後援会で賄うことが疑問視されている。地元からの消防団参加希望者が減少している。） 空き家や敷地内樹木の手入れ対策（空き家の手入れ不足が近隣に迷惑を及ぼしている。境界を越える樹木の手入れがされないことに対するトラブルが自治会に持ち込まれる。） 各種グループホームの受け入れ方法の改善（開設が完了して、初めて近隣者が知る状況であり、問題が生じた場合は、対策が後手になる。空き家を利用したホームは、ゴミ集積所使用のみを確認し、自治会への関心も低い。）	改善が必要な箇所の道路整備 加入率の低下の対策については、行政による転入者への自治会加入の周知や未加入者への課税なども検討し自治会へ還元する。役員の担い手の対策については、自治会のボランティア活動に対して謝礼制度の拡充や地元自治会の事務局としてのボランティア活動を市職員へ義務付ける（報酬は、謝礼制度を適用する）。 組織の見直し（中心となる組織を明確化し、全てをその組織の下部に設置する。） 消防団員の報酬基準の見直し、全ての費用を行政で予算化する。 自治体と自治会が連携して対応できる体制をつくる（樹木のはみ出しについては、敷地外に出させないよう法改正を行う。） 受入側の自治会、近隣住民との事前打合せを行えるような仕組みをつくる（ゴミ集積所の件については、個別収集化を早急に検討する）。